

いざ全国大会へ がんばれ梅沢クラブ



△2/21、ひらかドーム（平川市）で開催された招待ソフトボール大会でも見事優勝を飾った

三月二十七日（金）から宮崎県総合運動公園で開催する「第二回春季全日本ソフトボール大会」（全国より四十八チーム参加）に向け、梅沢クラブの選手たちは、連日遅くまで猛練習に取り組んでいます。

体育館での基礎練習、校内廊下での走り込み、また週末は、ドーム球場での実践練習と小学生とは思えないほどハードな内容で行われていますが、選手たちの表情は明るく、大きな声を出し、そしていつも笑顔で取り組む姿には、とても感心させられます。選手全員ソフトボールが大好きで、「全国大会で勝ちたい」という気持ちが伝わってきます。

今回の大会には、梅沢クラブのような小さな学校の出場は少なく、ほとんどが大規模校ばかりで、しかも全国でも有名な強豪がたくさん出場してきます。そんな中でも、普段のプレー、そしてどこにも負けないチームワークで大会に望めば、必ずやすばらしい試合ができると思います。

大きな学校に負けない「梅小魂」でぜひ大暴れしてください。



③



②



①



④

①シュアなバッティングを見せるサード安田沙耶香選手 ②チームの要キャッチャー安田千紘主将 ③～⑦エース安田真央選手のダイナミックなピッチングフォーム



⑤



⑥



⑦

がんばれ梅沢クラブ

チームの紹介

全国大会に向けての抱負を監督と選手のみなさんに聞きました。



監督
佐藤 典弘 (梅沢小学校教諭)
監督として初の全国大会出場となり選手以上に緊張しています。梅沢の良い伝統を守り、のびのびソフトボールができるよう選手たちを指導しています。臆せず普段とおりのプレーができれば、おのずと結果がついてくると思っていますので、選手たちが緊張しないように思っています。



投手
安田 真央 (五年)
練習の時から、丁寧に投げるよう心掛け、普段と違うやりにたいです。

捕手
安田 千紘 (五年)
本番で少しでもいいバッティングができるよう練習をがんばります。

一塁手
佐々木 繪華 (五年)
ボールを体で止めしっかりと守ります。

二塁手
佐々木 葉 (四年)
守備をがんばる。ボールを後ろにやらない。がんばるだけです。



三塁手
安田 沙耶香 (五年)
大事な場面で打つために、基本の素振りもしっかりやっています。

遊撃手
高橋 あかね (五年)
エラーしないよう、チームのために打てるようがんばります。

左翼手
鈴木 ゆいか (五年)
エラーしないように、毎日家でゴロを取る練習をしています。

中堅手
安田 咲夏 (四年)
取れそうもない球でも、思い切り走って取りたい。がんばります。



右翼手
松山 暉 (五年)
平凡なミスをしないよう、普段の基礎練習をしっかりとやります。

内野手
成田 優智 (四年)
試合に出たら、悔いのないよう思いっきりプレーしたいです。

外野手
安田 有沙 (四年)
大きな声を出して守備をしたい。球をよく見て打ちたいです。

外野手
永澤 出穂 (四年)
打ったら全力で走ること。自分の後には絶対球はやりません。

外野手
成田 あゆみ (四年)
守備では、球を体で止め、打撃では強いゴロが打てるようがんばる。

三塁手
高橋 寧々 (四年)
いつでも試合に出られるよう準備して、大きな声を選手に掛ける。

町民みんなが梅沢クラブを応援しています！



大きな声で毎日練習に励む選手たち。どこにも負けないチームワークで臨む全国大会。がんばれ梅沢クラブ！

梅沢クラブの選手団二十六人(選手二十三人、監督コーチ三人)は、今月二十七日(金)の早朝に梅沢小学校を出発して、同日午後からの行われる開会式に出場し、大会初日(二十八日)第一試合、香川県代表・多肥ブルーウィングズとの試合に臨みます。心から健闘を祈ります。

【チームの特徴】
4種類の球種を持つ千早安田真央を中心に、守りからリズムをつかみ攻撃につなげていくチーム。大砲はいないが、全員ミートがうまくどこからでもチャンスをつくることができ、また俊足が揃っているので多彩な攻撃ができる。特にトップバッター高橋あかねが活躍すると得点につながるケースが多い。